



あいさつについて

PTA 児童育成委員の皆様には、子ども達の地区生活を見守っていただき、お世話になっております。過日、児童育成委員の皆様から、2学期の通学状況の反省を学校に提出していただきました。その中に「あいさつ」について、下の反省があげられました。

横断歩道に立ってくれているおまわりさんにあいさつをしている子が少ない気がします。(特に高学年) 雨の日も暑い日も立ってくれています。あいさつくらいは出来ると良いと思います。

この反省を読ませていただき、とても残念な気持ちになりました。あいさつは、感謝の気持ちを形にして表す行為です。相手に対する心づかいです。一昨日の朝、交差点で子ども達の登校を見守ってくださっている方々にお話をうかがうと、「こっちがあいさつしても、あいさつをしない子が結構います」と仰っていました。そこで、一昨日の昼の放送で、全校生に対して改めてあいさつについての話をしました。

皆さんが安全に登校できるように毎朝見守ってくださる方には、感謝の気持ちを表すことが、人として大事なことです。感謝の気持ちは心の中で思っているだけでは相手に伝わりません。声に出して「おはようございます」「ありがとうございます」と伝えることではじめて形になります。お世話になっている人にはあいさつしなければなりません。あいさつをしないで、不審者や事故など、いざという時に大声が出せるよう、声を出す練習のつもりで朝のあいさつをしましょう。

これまであいさつの大切さを折々に子ども達に伝えてきましたが、残念でなりません。「あいさつをしましょう」ではなく「あいさつしなさい」としたのは、人として当然のことができていないからです。

あいさつは家庭教育における躾の一つでもあります。ご家庭におかれましても、あいさつの大切さについて、お子さんにお話ししたいと思っています。

親子でお小遣いについて

考えてみてはいかがでしょうか

もうすぐ冬休みを迎え、クリスマスやお正月など、年末年始の楽しい行事が子ども達を待っています。お正月になると、多くの子ども達がお年玉をいただくと思います。そのような折、親子でお金の使い方について話し合ってみてはいかがでしょうか。

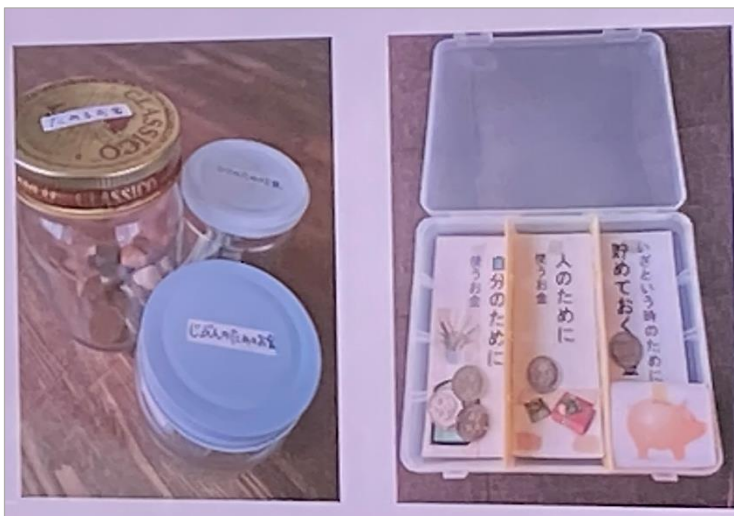
以前、キッズ・マネー・ステーションの志甫真由美氏(福島市在住)から、お小遣いの管理の仕方についてお話を聴く機会がありました。私が特に参考になったのは、お小遣いを三つに分けて管理する方法です。その三つとは、

① 自分のために使うお金

② 人のために使うお金

③ 貯めるお金

です。



例えば、②の「人のために使うお金」とは、募金するお金などです。とても素敵なお小遣いの仕分け方ですね。写真のようなケースや瓶にお金を入れて管理すると分かりやすいそうです。

この冬休み、親子で「お小遣い会議」を開いてみてはいかがでしょうか。これも金銭教育の一つです。